



月報 幸中タイムズ

令和7年7月17日（木）

第190号

幸田町立幸田中学校・発行

幸田っていいな

教務主任 太田 早織

6月28日（土）から3年生にとって最後の夏の大会が始まり、各種目で熱い戦いが繰り広げられました。先輩たちの活躍に、観客席も一体となって応援する姿に毎年のように感動をしています。どのスポーツにおいても、声援は、選手にとってもチームにとっても、ものすごい勇気を与えていたと思います。

今年も夏の大会の話題がたくさん聞こえてきました。その中で卓球の部の大会は、岡崎中央総合公園武道館で行われました。5チームによるリーグ戦の最終戦。勝った方が1位で決勝リーグに進むことができる大事な1戦です。幸田中と相手校の対戦のとき、一球決まると、大きな声援が聞こえてきました。私は、本部近くで幸田中を応援していましたが、幸田中の声援がどんどん大きくなっているのを感じました。客席を見上げると、幸田町の三つの中学校が、学校も男女も関係なく一緒に応援をしていました。幸田の子たちが一丸となっていました。点を取られても「頑張れ」「大丈夫」、点を取れば「おお」「もう一本」と大きな声援が飛び交いました。見事勝利し、喜んでいると、見ていて方から「幸田地区は仲がいいんですね。見ていて気持ちがいいです」と言われ、うれしく思いました。



客席から身を乗り出しての応援

卓球部は、毎年夏の大会が終わると、新チーム恒例の審判講習会を行います。3中学校の卓球部員が集まり、卓球のルールを確認します。そこで1年生が顔を合わせ、お互いに初めての交流です。そこでは、講師の方から卓球のよさについての話があり、1年生同士、一緒に打ったり、試合をしたりと楽しんで交流する光景が見られます。この講習会が終わると、互いに声を掛けて3校で練習試合を何度も行い、時には県外にまで出かけ、勝ったり、負けたりを



1次リーグ、全勝決定！

繰り返して切磋琢磨しながら、「3中学校で、夏の大会を勝ち進んでいこう」を合言葉に、最後の夏を迎えます。

中学からラケットを握る選手がほとんどである中、3中学校で互いに声を掛け合ってきたからこそ、自然に幸田の仲間を応援しようとする気持ちが生まれてきたのだと感じます。学校に関係なく応援できる幸田っていいなと思います。

3年生修学旅行

令和7年6月4日（水）～6日（金）



東京では僕らはちっぽけな存在だった



「証」合唱指導

今回の修学旅行で、私は実行委員をしました。スローガン「TOP」と三つの柱「ルール・マナー」「自分の役割を果たす」「協調性」が決まったときに、まず自分がやろうとしなければ誰もやろうと思わないなと思って、これらを意識して過ごそうと決めました。班別学習では、自分たちで電車に乗って目的地まで行ったり、ディズニーでは班の仲間とたくさん話しかけて楽しませたりと、自分が動かなければという責任が自然とついてきました。そうなったのは、誰かの前に立つためにふさわしいことをしなければいけないという状況ができたからだと思います。誰かの前に立つリーダーを務めることは私の中で勇気がいることで、一歩踏み出すまで心配や不安ばかりでした。けれども、やってみたら意外とできるし、失敗してもこれも経験と割り切れることが多くありました。だから、さらに責任ある人になるためには、人前に立ってたくさんの経験を積んで、しなければいけないではなくて、自然に身に付いているような人になりたいです。

(3-2)



班別行動 A N A



仲間と行くディズニーは最高



浅草寺 雷門前で



クラス別行動 もんじや焼き

2年生職場体験学習

令和7年6月4日（水）～
6月6日（金）

2年生184名が、64の事業所に分かれて三日間の職場体験学習を行いました。

＜体験先 カンドリ工業＞

ぼくはこの三日間の職場体験で多くのことを学びました。一つ目が職場の雰囲気のよさです。カンドリ工業のみなさんは、一人一人が温かくとてもよい職場の雰囲気でした。そのおかげであまり緊張することなく、三日間過ごすことができました。二つ目がコミュニケーションの大切さです。ぼくらが作業をしている隣の部屋で電話を受け付けていました。その部屋を見たときに、どんな職業でもコミュニケーションは大切なんだなと思いました。

働くことで、何かを達成したときや仲間と力を合わせて何かを成功したときの喜びを得ることができたら幸せなんだろうなと感じました。三日間で学んだことをこれからに生かしていきたいです。

(2-1)

＜体験先 平岩農園＞

最初は、ブドウの傘かけを行いました。ぶどうは、虫に食べられたり、日光や雨にあたってしまったりしたら、商品にならないそうです。なので、丁寧に作業を行いました。今まで、傘かけがされているブドウを見たことがありましたが、これを全て手作業で行っていることを知り、驚きました。次に、メロンにシールを貼りました。事業所の方に「へたの向きを揃えながらシールを貼れば、かわいくなるよ」と言われ、普段見ている果物にもいろいろな工夫がされていて、お客さんに買ってもらうための、隠された戦略があるのだなと思いました。

同じ作業を何回も行うことは大変でしたが、何回も行うことでその作業が「好き」や「やりたい」につながると感じました。

(2-2)



＜体験先 幸田町消防署＞

消防署は人を助ける職場だということを、たくさんの訓練を体験させてもらい感じました。体験では、ロープ渡りをやらせてもらいました。とても手が疲れたり、高いところだったので怖かったです。消防士の方が見本を見せてくださいましたが、とても速く渡っていたので、すごいと思いました。人を助けるために、命を守るために、日々の訓練を大切にしているのだなと思いました。

職場体験を通して、消防士のみなさんのことをとてもかっこいいなと感じました。ぼくは将来、消防士になり、人を助けたいという思いがあります。その思いがより強くなった三日間でした。

(2-3)

福祉実践教室

令和7年6月25日(水)

1年生が五つの講座に分かれ、体験を行ったり、講話を聞いたりしました。生徒は心をはたらかせて福祉について学びました。

1-2

私のお母さんは耳が聞こえません。なので、手話は大体分かっていました。しかし、今回の講座では手話の技術以上のことを学びました。それは「手話は言語である」ということです。手話が分からなくても、口の開け方や表情で伝えられるのが手話です。これからも、私が知らないことをたくさん覚えて、いろんな人と会話ができるよう、今日学んだことを生かしていきたいです。

1-4

高齢者疑似体験を受講しました。高齢者の目の見え方や手や足の重さを疑似体験させてもらい辛さを実感しました。目はすごくぼやけていて信号も分からなかっただし、階段をのぼる時は足が上がらず、豆を箸でつかむどころか財布からお金を取り出すのも一苦労でした。だから今後、高齢者を見かけたら少しでも力になれるように行動していきたいと思います。



* * 順位記録 * *

<西三河中学校選手権大会

岡崎幸田支所予選会>

○団体記録

ソフトボール部	3位
女子ソフトテニス部	3位
男子バレーボール部	3位
男子卓球部	3位

○個人記録

男子ソフトテニス部	3位
弓道部女子	優勝
陸上部女子100mハードル	3位

<西三河中学校選手権大会>

○個人記録

陸上部男子1500m	3位
------------	----

<中部日本吹奏楽コンクール 西三河北ブロック大会>

吹奏楽部 銀賞

☆上位大会進出！ おめでとう！

○西三大会（団体）

ソフトボール部、女子ソフトテニス部、
男子バレーボール部、男子卓球部、剣道部男女、
弓道部男女

○西三大会（個人）

男子ソフトテニス部
女子ソフトテニス部

男子卓球部

女子卓球部

○県大会

陸上部 男子1500m
女子100mH